

- このたびは、『合成木材デッキ』をご採用いただきましてありがとうございます。
- 商品の組み立ておよび施工には、この施工マニュアルをお読みにになり、正しく美しく仕上げてください。

■ 施工上の注意

	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工前に部材・部品の寸法・数量を確認してください。 ● 躯体やサッシ枠より10mm以上離して施工してください。 ● インパクトドライバーをご使用の際は、ネジの締めすぎに十分ご注意ください。 ● デッキ材（SKG-ND、SKG-NDL）を長手方向に連結する場合は千鳥張り（馬目地）で施工してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 必ず弊社指定の寸法範囲内で施工してください。 ● 溶剤による塗装、接着による固定は行わないでください。 ● 壁への立て掛けでの保管は絶対に行わないでください。 ● オプション部材「幕板」を施工した場合、幕板には過度な荷重をかけないでください。 ※蹴込み板など荷重が掛かる用途で使用する場合は、必ず別途部材を発注し補強してください。

1. 部材の確認

●標準デッキ（SKG-ND、SKG-NDL）

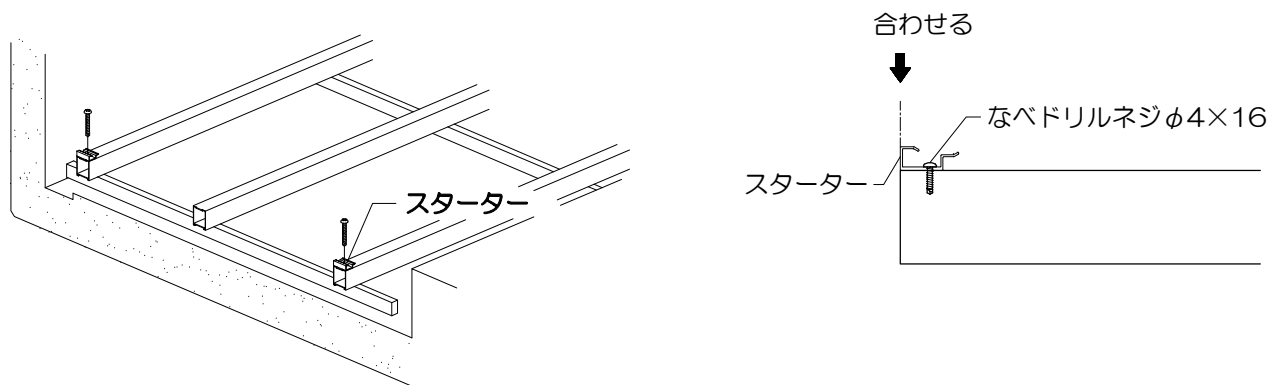
品名	デッキ材	取付ネジ	スターター	5mmスペーサー
姿図	 [サイズ] 145X30	 なベドリルねじφ4X25		 デッキ材目地5mm調整用

2. デッキ材の施工

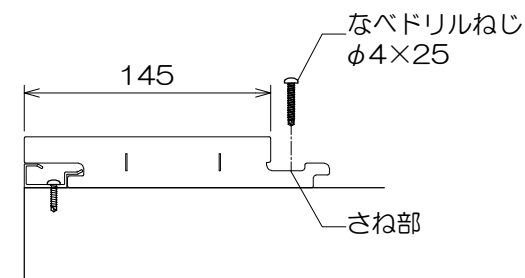
ラティスフェンス取付の場合

- ・別売りの「ラティスフェンス」「デッキフェンス」を施工の場合は、別途下地の補強が必要になります。詳しくはフェンス付属の取付説明書をご確認ください。

- ・デッキ貼り始めの位置決め用に「スターター」を取付けます。

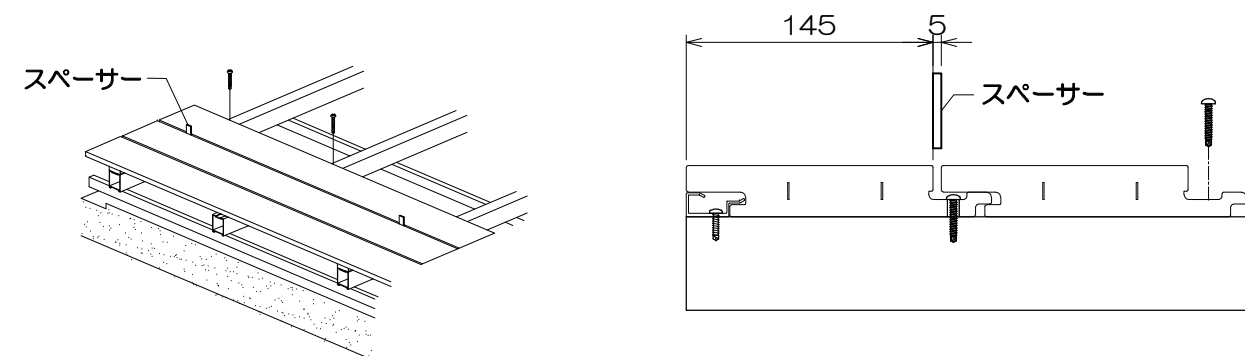


- ・下図のように「スターター」にデッキ材を突き当てて設置し、さね部から根太や大引きにネジで固定してください。



※「さね部」にあらかじめ加工されている水抜き穴にはネジを打たないでください。

- ・付属のスペーサーを利用してデッキ材の間隔を5mmずつ空け、ジョイントしながら貼っていきます。

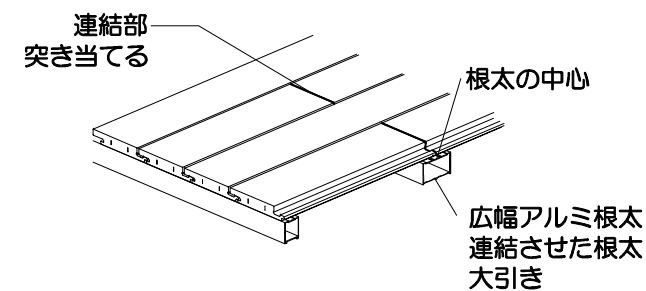


※躯体の凹凸に併せて、必要に応じて丸鋸、ジグソー等でデッキ材を加工してください。

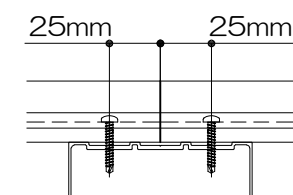
※躯体との直角を確認しながら施工してください。

注意

- ・デッキ材を長手方向に連結させる場合は、下図のように千鳥張りにしてください。
- ・デッキ材の長手方向の突合せ部は、隙間が無い様に突き当てて施工してください。

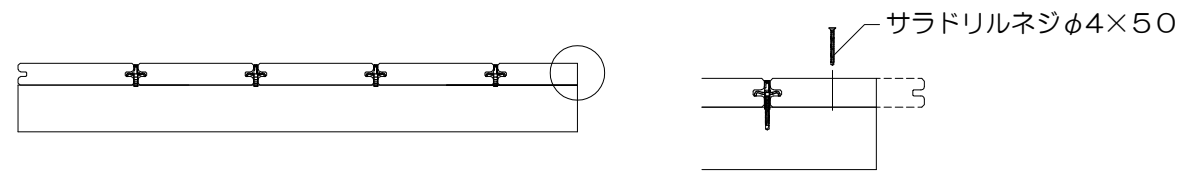


- ・ネジ止めは、デッキ材端部から25mm以上で行ってください。



貼り終わりのサイズが合わない場合

- 貼り終わりのデッキを大引きの端部に合わせて縦裂きしてください。
- デッキ材表面からサラドリルネジφ4×50で直接打ち込んで固定して下さい。
※デッキ材には必ず下穴（φ4.5）を空けてください。



POINT

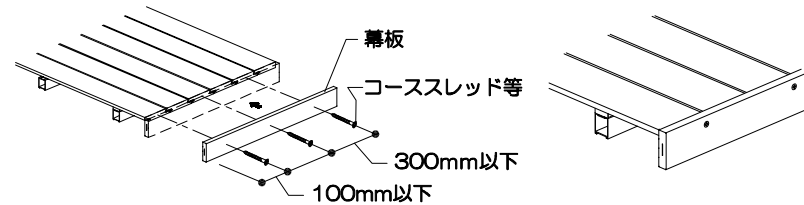
デッキを縦裂きする場合、ジグソー（刃：新建材PC仕上用）、又は丸鋸（刃：集成材用）に潤滑スプレー（シリコン系スプレー等）を吹付け、刃を傾けて切断してください。

3. 幕板の施工

レギュラータイプ下地の場合

＜幕板＞ 【サイズ】25×100

- 木口面の仕上げ用としての部材です。



※取付けネジは別手配になります。

※取付け時にはあらかじめ下穴を空けて下さい。

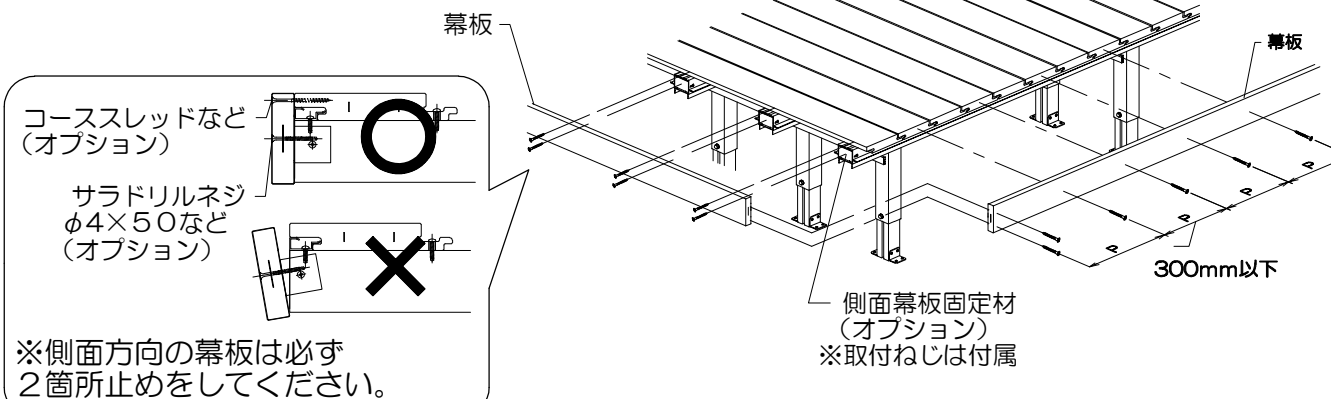
高床タイプ下地の場合

＜幕板＞ 【サイズ】25×100

- デッキ材の木口面や大引きを隠す仕上げ用部材です。

※取付けネジは別手配になります。

※取付け時にはあらかじめ下穴を空けて下さい。

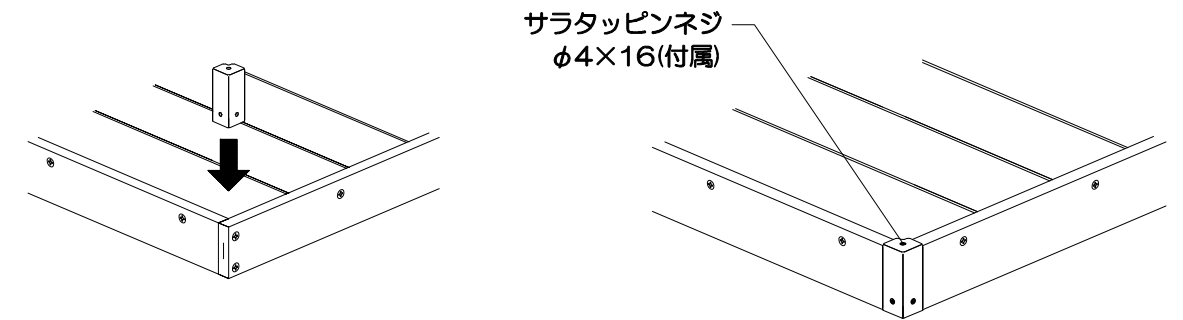


※側面方向の幕板は必ず2箇所止めをしてください。

4. オプション部材の施工

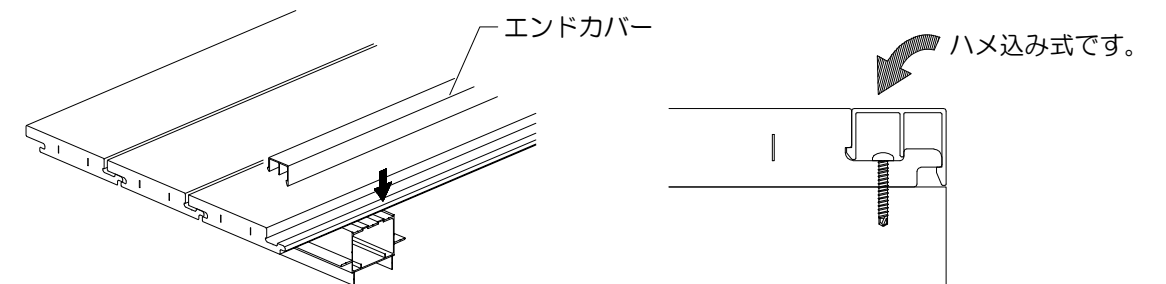
＜幕板コーナークバー＞

- 幕板の出隅部の仕上げ用として使用します。



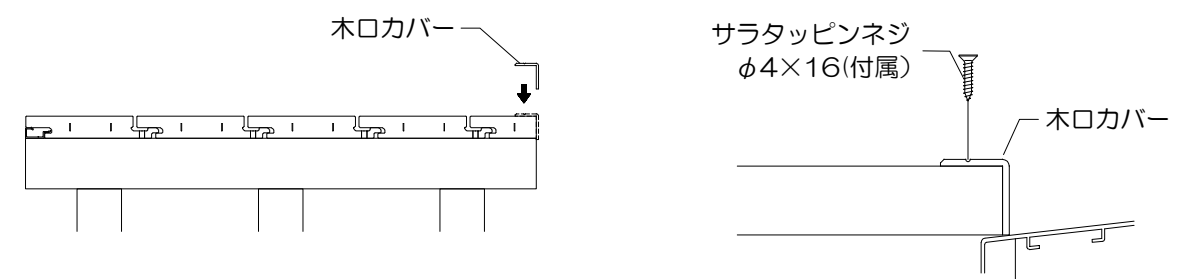
＜エンドカバー＞

- デッキ貼り終わり端部のビス隠し用の部材です。



＜木口カバー＞

- デッキを縦裂きした場合の木口処理や隙間などの見切り用として使用します。



＜木口カバーキャップ＞

- 木口カバー連結部の仕上げ用部材です。

